



---

# STOP! 冬季労働 災害プロジェクト

---

高山労働基準監督署

# 冬季転倒対策

## ◆ 転倒しにくい対策

- 滑りやすさと摩擦係数
  - ・ 摩擦係数0.2未満は転倒リスク高
  - ・ 耐滑性能の高いもの(スパイク付長靴、携帯用かんじき)を積極活用
    - ・ 靴底が摩耗したものはリスク高
  - ・ 小歩幅、靴裏全体で着地リスク低減
- 寒波予報と対策
  - ・ 人が行き交う通路には凍結防止剤
  - ・ 交通機関の遅れ対応

## ◆ けがを減らす対策

- 身体能力セルフチェック(注)
  - ・ 歩行能力、敏捷性、バランス能力
- ポケットに手を入れたままの歩行は危険
  - ・ 手袋着用習慣
- 能力に応じた運動励行

(注) 職場の安全サイト「STOP! 転倒災害プロジェクト」にアクセスしてください。



# 雪下ろし対策



## ◆ 本質安全化

- 屋根急勾配、電気ヒーター、温水パイプ設備の設置

## ◆ 付加保護方策

- 屋根上からの墜落防止のための安全帯使用、墜落用保護帽の着用
  - ・ 昇降設備の固定、安全帯使用、墜落用保護帽・手袋着用、天窓位置確認、複数人の作業配置計画
- 屋根下から雪下ろし棒で下す際の保護帽着用、退避場所の確保
  - ・ 複数人の作業配置計画

# 除雪機使用の留意点



- ◆ 登坂能力を超える坂道の除雪禁止
  - 除雪機の登坂能力の事前確認
- ◆ ポールの事前設置による積雪時の路肩明示対策
  - 降雪前に行う準備と心構え
- ◆ 視界不良時の作業における、操作者及び周辺作業者の反射ベスト着用徹底
- ◆ 除雪機の作業前点検、整備の確実な実施
- ◆ 雪・氷などを除去する際の、エンジンの完全停止

## 一酸化炭素中毒対策

- ◆ 作業管理
  - 自然換気が不十分な場所での、エンジン及び練炭を使用禁止
  - やむを得ず使用する場合は、十分な換気の実施(目安は作業場所気積の5倍)
- ◆ 作業環境管理
  - 一酸化炭素濃度の確認(許容濃度50ppm以下)
- ◆ 呼吸用保護具
  - 適切な呼吸用保護具の使用(防じんマスクは効果なし)
- ◆ 労働衛生教育 & 体制
  - 緊急時の訓練、責任者の配置



# 冬季交通事故防止



## ◆ 運転手の心構え

- 急発進、急ハンドル、急ブレーキはスリップの原因
- 車間距離は夏場の倍以上確保
- 交差点へは減速して進入
- 疲労に応じた休憩時間

## ◆ 自動車整備

- 冬用タイヤの早期装着、車上の除雪

## ◆ 自然条件

- 積雪・落雪・除雪による視界不良

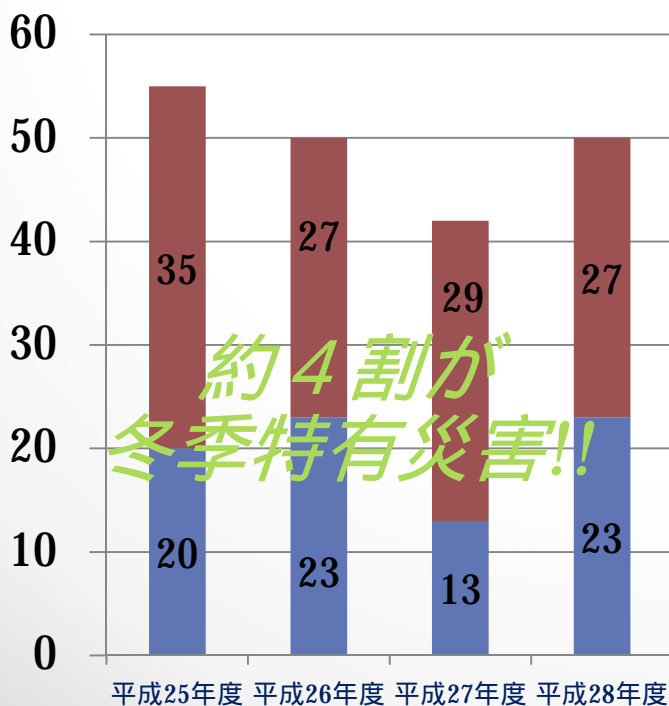
## ◆ 時間に余裕

- 交通状況に応じた運転時間の確保

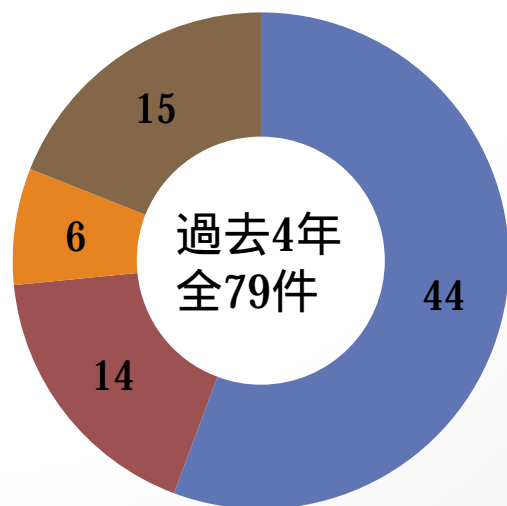
# 冬季労働災害発生状況

■ 冬季特有災害 ■ その他

## 冬季特有災害事故の型



約4割が  
冬季特有災害!!



■ 凍結転倒 ■ 雪下ろし  
■ スリップ交通事故 ■ その他

12-2月に発生した労働災害 高山労働基準監督署調べ